

団体概要書

(その 1)

団体名	公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団		団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input checked="" type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 認定NPO法人 <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) いのうえ のりゆき 井上 礼之			
主たる事務所の 所在地	大阪府大阪市港区弁天 1-2-4-700 大阪ベイタワーウエスト 7F			
設立年月	2017 年 4 月 (法人設立: 2003 年 9 月/主務官庁: 大阪府)	構成員数	69 名	
事業年度	4 月 1 日 から 3 月 31 日			
団体の活動 目的	常に質の高い芸術性を追求するとともに、音楽文化の普及・浸透を目指しています。また、その音楽芸術活動を通じて、深刻化する青少年教育・心の医療にも貢献していきたいと考えています。			
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 1 音楽			
主な活動内容	<p>関西フィルハーモニー管弦楽団は、大阪市に本拠を置き関西を始めとする諸地域で活動するプロ・オーケストラです。</p> <p>自主公演・依頼公演合わせて年間 100 回程度の演奏会を実施し、のべ 10 万人以上の方々に音楽が生み出す感動を届けています。オーケストラの魅力は、何十人もの音楽家達が心を一つにして作品に向き合い、音楽の感動を生み出すことが出来ることにあります。特に、青少年に向けての活動は、当楽団の重要な柱の一つです。</p> <p>大阪市内の活動を中心として、我々は次世代を担う子供たちにワークショップや演奏会を通じて、他では体験する事のできない音楽の魅力をお届けしています。人間にしか生み出すことが出来ないこの営みがこれからの時代の中で益々重要性を増し、その活動の活性化が社会の文化向上にも繋がるという確信のもと活動しております。</p>			
これまでの主 な活動実績	<p>※具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。</p> <p>平成 29 年度 総演奏会 95 回 (延べ動員数 86,400 人) 事業内訳(フルオーケストラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆定期演奏会 年 9 回 第 280 回(平成 29 年 2 月 24 日)~第 288 回(平成 29 年 11 月 23 日) ◆第九特別演奏会(平成 29 年 12 月 16 日) ◆いずみホールシリーズ 年 3 回 Vol.42(平成 29 年 5 月 7 日)、Vol.43(平成 29 年 9 月 15 日)、Vol.44(平成 29 年 11 月 16 日) ◆Meet the Classic 年 2 回(平成 29 年 1 月 26 日、平成 29 年 8 月 10 日) ◆大阪市中央公会堂特別演奏会(平成 29 年 3 月 18 日) ◆第 8 回奈良定期演奏会(平成 29 年 4 月 16 日) ◆スプリング・スペシャル・コンサート(平成 29 年 5 月 3 日) ◆第 7 回城陽定期演奏会(平成 29 年 8 月 20 日) ◆第 3 回親子定期演奏会(平成 29 年 8 月 5 日) <p>以上、主催演奏会計 20 公演 (定期・第九演奏会: 10 回 特別演奏会: 10 回) その他、企業・学校等からの依頼公演 64 公演、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」での学校公演計 11 公演、そして 30 回を超える室内楽などの演奏会を実施しております。</p>			
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> (URL http://www.kansaiphil.jp/) / 無			

機関紙	有（機関紙名 K News ） / ㊟
「活動分野」 大阪市芸術文化振興条例第 2 条にて定義する芸術文化 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎 11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化	

(様式第 2 号)

寄附者への P R 等

(その 2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>◇経営基盤の強化</p> <p>関西フィルの財政基盤は①自主公演での入場券収入・友の会収入②依頼演奏会での収入 ③企業協賛・寄附</p> <p>④後援会収入⑤文化庁や民間団体などからの助成金など、5 つの柱から成り立っており、自主公演・依頼公演等による事業収入の割合が収入全体の 68%を占めています。</p> <p>経営の自立度を高めていくためには、良質な演奏会を提供し、集客力を高めていく不断努力が必要ですが、現在の公演回数は年間 100 回前後で、物理的に上限であるという認識のもと、公演の質的向上と新たな仕組みを構築し、協賛金・後援会収入を増やす事で、安定した財政基盤を確立する事が大きな課題となっております。</p> <p>また平成 26 年 11 月に認定 NPO 法人認可取得したことに伴い、寄附金において税制優遇を受けることができる点を重点に広報活動を行い、さらなる寄附金の確保に努める事が必要だと考えております。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>◇演奏力の向上～「自発的な深く豊かな表現力」の追求</p> <p>2011 年から 7 年間、音楽監督オーギュスタン・デュメイとともに着実に積み上げた「デュメイ&関西フィルサウンド」が、関西フィルにしかない「個性的なサウンド」として成熟してきました。ステップアップを果たした関西フィルは、弱点を克服して更なるステップアップを目指します。また、演奏のレベルアップには新たな若い奏者の入団が不可欠です。合わせて、優秀な奏者を確保するためには待遇改善が早急な課題と認識しています。</p> <p>◇聴衆層の拡大</p> <p>今アメリカのオーケストラでは、古い体質のオーケストラ、古い聴衆から新しい聴衆を求めるために、若い音楽監督を就任させる傾向が強く、新しいプログラムで若者をひきつけることが重要であり、それを恐れる事が最も危険であると言われております。ポピュリズムに走ることで、クラシック音楽の演奏の質への影響が懸念されるところ、関西フィルにおいても、ポピュリズムとクオリティの正しいバランスを熟考し、聴衆層の拡大を図ります。</p>
<p>市民等寄附者に対する P R</p>	<p>関西フィルは、関西のお客様、企業、行政など関西に関わるあらゆる人々に愛され支えられるオーケストラとして、聴衆層の拡大をより積極的に進め、地域に根差した楽団を目指して参ります。と同時に、この関西の地から、デュメイ音楽監督と共に、世界のクラシックファンに向け、ヨーロッパの生んだ伝統文化の素晴らしさと未来への可能性を発信し、“自発的な深く豊かな表現力”を持った、世界に通用する楽団となるべく活動したいと考えておりますので、何卒ご支援を賜りますようよろしくお願いたします。</p>